

大会規定

海南市ソフトボール協会
2008年6月3日 改正

1. プレイヤー(登録された監督、コーチを含む)のユニホームはすべてチームとして統一されたもので、色は全体として品位を保つものでなければならない。
ユニホームがない場合はトレーニングウェアでも良いが、服と帽子の色は統一しなければならない。
2. 監督・コーチ・プレイヤーは、すべて背番号を付けなければならない。プレイヤーの番号は1番から99番とし、守備位置とは関係ない。
監督は30番、コーチは31番、主将(キャプテン)は10番とする。
3. 背番号の規模は最大限字の長さ21cm、字の巾16cm(二重のものは外側)とする。
4. 帽子はユニホームの一部であってプレイヤーは、必ず着用しなければならない。
5. グラブは、全プレイヤーが使用しても良いが、ミットは捕手と一塁手のみで使用出来る。投手が使用するグラブは全体が一色であって、その他は白色や灰色以外のものでなければならない。他のプレイヤーはどのような色彩のグラブを使用しても構わない。但しその場合でもグラブのまわりが白色や灰色の為、外観上ボールと見まちがいを誘うようなものは使用してはならない。
6. フェア地域、ファウル地域を問わずフィールド上に用具を放置してはならない。
(ルールの適用でペナルティがある。)
7. バット使用については(財)日本ソフトボール協会の検定マーク(JSA)とナンバーが明記されていないと使用できない。
また、ゴム用と明記されているものは革ボールには使用出来ない。
8. 試合使用球は、協会第3号コルク芯ゴムボールを使用する。
9. 各大会トーナメントの1試合目のみ、フィールドイング(シートノック)を行うことができる。
10. 試合回数(イニング)は7回戦とし5回以降7点差でコールドゲームを採用する。
70分(80分)以内の場合の延長戦はタイブレーカーとする。同点の場合は抽選で勝敗を決定する。
11. 1試合70分(80分)の時間制限を採用しこれを優先とする。規定時間を越えて新しいイニングに入らない。但し、5回終了以前に於いて70分(80分)を越えた場合は均等回を以て終了とする。尚、リーグ戦については1試合80分の時間制限を採用する。
12. 優勝戦に限り時間制限を採用しないが、コールドゲームは採用する。ただし、グラウンド使用時間等の関係もあるので、状況に応じ、その都度、役員が協議し決定する。
13. 抽選会・監督会議での説明又は決定された事項はチーム全員に報告し必ず厳守することを徹底させる事。
14. 抽選会・監督会議(代理可)には、必ず出席すること。
15. 審判員の判定に対し著しい暴動、暴言を発する事を禁止する。
16. 金属性スパイクの使用は自由とする。
17. 選手の集合時間は試合開始予定時刻30分前には球場に到着し、監督は打順表(4枚1組)に記入して提出準備をすること。なお、フルネームでふりがなを付けて記入すること。

18. トーナメント大会については、参加申込書で事前に選手登録をし、出場資格を得る。この場合はその大会が終了するまで、1チームに限定し他のチームには出場出来ない。
19. トーナメント大会については、一般の団体チームも参加出来る。
20. リーグ戦については、会員としてチーム登録されたチームのみで他のチームに入っては出場出来ない。
21. 選手は試合をスピーディに行えるように敏速な行動をすること。又球場では本部役員・審判員の指示に従って行動すること。
22. コーチボックス及びベンチ内での喫煙を禁止する。
23. 場外に出たファウルボールは攻撃側チームが必ず拾いに行くこと。
24. 次打者は必ず両耳のヘルメットを着用して次打者席に入ること。素振りは禁止する。
25. 投手の準備投球数は1回目と投手交替の時は5球以内とするが、2回目以降の準備投球数は3球までとする。
26. 試合中の打ち合わせは、攻撃側で1イニングに1回、守備側で1イニング～7イニングまでの間に3回までとする。
27. タイムとはプレイヤーが要求してあくまで審判員が認めた時である。
28. 捕手は必ず「スロットガード付マスク」・「捕手用ヘルメット」・「レガース」・「プロテクター」を着用すること。
27. 打者及び走者は両耳のヘルメットを着用すること。※両耳のヘルメットが望ましい。
28. 足を高くあげてのスライディングすることは、危険防止のため禁止する。
29. 試合開始予定時刻を過ぎても球場に来ないチーム及び9名揃わないチームは双方棄権と見なす。
30. ベンチは大会組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。リーグ戦は対戦する組み合わせ左側を一塁側とする。
31. マナーの向上促進のため、全チームはベンチの清掃・球場の整備及び後片付けをするよう常に心掛けること。
32. 球場の準備は第1試合のチームが役員と協力して行うこと。
また、最終試合のチームがベンチの清掃、球場の整備後片付けをして退場すること。
33. 協会に加盟登録する時は、各チーム2名以上の義務審判員を必ず記入すること。
34. 試合規則は、原則として、日本ソフトボール協会オフィシャルルールを採用する。
35. 大会規定に定めのない事項については、役員及び審判員が協議し、その都度、決定する。

海南省ソフトボール協会

平成13年2月 改定

平成15年1月 改定

平成20年6月3日 改定